

西部学校給食センター開所



開所を祝いテープカットする布施市長
(右から3人目)ら関係者(4月5日)



給食センター内部

市内学校給食センターの再編

| 再編前 | 再編後 | 供給施設 |
|---|--------------|---|
| 東和学校給食センター | 東部東和学校給食センター | 米谷小、錦織小、米川小、東和中 |
| 中田学校給食センター 石越学校給食センター | 北部学校給食センター | 石森小、加賀野小、宝江小、上沼小、浅水小、石越小、中田中、石越中、石越幼 |
| 豊里・登米学校給食センター (米山学校給食センター) | 南部学校給食センター | 登米小、豊里小、米山東小、登米中、豊里中、米山東幼 |
| 佐沼小学校給食センター 北方小学校給食センター 新田学校給食センター 佐沼中学校給食センター 南方学校給食センター (米山学校給食センター) | 西部学校給食センター | 佐沼小、新田小、北方小、中津山小、米岡小、南方小、西郷小、東郷小、佐沼中、新田中、米山中、南方中、米山西幼、南方幼、西郷幼、東郷幼 |
| 津山学校給食センター | 東部津山学校給食センター | 柳津小、横山小、津山中 |

※ 米山学校給食センターは、西部と南部に分割



位置図

16施設へ3500食

南方町の新高石浦地内に建設を進めていた西部学校給食センターが完成し、4月9日から各学校へ給食を配送しています。

完成した西部学校給食センターは1日3600食の調理が可能。追、南方、米山の一部の幼稚園、小中学校16施設に約3500食を供給しています。

施設は、鉄骨造り1階建てで延べ床面積2056平方メートル。事業費は約10億5900万円です。調理、配送業務はニッコクトラスト東日本に委託しています。

衛生管理を徹底

施設内は、検収や下処理、調理、配送、洗浄といったエリアが完全に仕切られ、人は専用のフードジャーに入れて学校へ届けられます。

日本型食生活の充実を目指し、炊きたてのおいしいご飯を児童生徒に提供できるように炊飯機器を設置。野菜や果物をカットする処理能力も高めました。最新の設備を活用し、地元産の安全でおいしい食材を積極的に提供していきます。

そのほか、学校給食の調理過程が見学できる通路や会議室兼食堂を設け、食育にも活用できます。省エネルギー化にも配慮したほか、自家発電機や受水槽なども装備。災害時にも対応できる機能を併せ持った施設になっています。

市内11施設を5施設に

4月5日に開催された開所式には関係者約60人が出席。布施孝尚市長は「今まで以上に食育や地産地消に力を入れ、登米市の将来を担う子どもたちのため、安全でおいしい給食を提供していきたい」と述べました。

市では、施設の老朽化や衛生管理面を踏まえ平成22年度に策定した「登米市学校給食センター再配置計画」に基づき、市内11カ所の学校給食センターを5施設に集約しました。

安全安心でおいしい給食を届けます

新しく完成した西部学校給食センターは、衛生管理を徹底して調理することができるよう配慮した構造になっています。さらに、二重食缶を使用し、温かい物は温かく、冷たい物は冷たいまま届けるこ

とができます。登米市の将来を担う子どもたちのために、安全安心でおいしい給食を提供していきます。



西部学校給食センター
高山 清市 所長

学校給食を「生きた教材」として活用し、子どもたちの食に関する知識を深めたいですね。地場産食材をできるだけ多く取り入れることで、地域の皆さんと共に子どもたちの食に関わる感謝の心と登米の食文化、郷土への愛着を育てていきたいと思っています。